SEκO‖′C
DICI・ SP
セコニックデジスポツトL‐488使用説明書
お11い上げ
ありがとう
ございます
☆使|||li1 1二この使:ll it口
'i吉をビギおこtitヽただ
=、セコニックデジスポットL‐ 488.)itiヒを |‐ 分、二ごi舌 :|,(ださ
は .安季与二:ぎミお秩態で雄しますと省エネス■ンチが働き
5分後「1重加勺にスイッチがLJJれ /rtて ,Ij火「 します。
1年度使用する場合はON、 OFF、モード、切換スイッチを
1支 OFFにして力'ら ONまたは日にしてください。
●マンガン乾電池で浪1定できる時間は連続20時間が目安です。
ストラッフ推卜け
電池室カバー
三脚ネジ
メモタイアルオ旨標
″ EV目盛
″ 絞り目盛
″ ムービー目盛
″ シャッター目盛
測定の準備 ★この露出計は単Ⅲ 型乾電池2本 (1.:
電池を入れます
各部の名称
対物レンズ
al光スイッチ
受光角切換ノフ
ON OFFモードtyl換スイッチ
液晶表示部
接眼レンズ
▲ (アップ)キー
▼ (ダウン)キー
FEV選択キー
SO(フィルム感度)キー
シンクロターミナル
仕様
測定、測光方式 ●スホツト、14均 ‖1た 2段切扶|ズ射光式
●定常た :フランシユた切換測光
測定範囲(IS0100)● 定常たEVl～ 20
電池の極性を表′」tに従ってll:し
く入れます。
電池宅カバーを押しながら閉じ
ます。
ISOキーを押したままON、
+ OFF、モードLIJ換キーをON
にすると、液品表示書|∫ にbc文
字、電池容量が表示されます。
ISOキーを離すと測定モード
に切換わります。
光
正
一示
受
校
表
くり返し精度
ファインダー
素子
常数
範囲
その他の表示
使用電池
大きさ、重さ
●フラッシェたF4～ 90+0 9AV
●±01EV
●,■ ガリレオ式ファイングー
●イ静率 061キ ●ネ見1l fri… 36°
●視li表 ′Jt 受光角1° リング、預J定 1/1
0シリコンフォトダイオード
OK=125
(各数値の表4t)
●IS O(フィル′、′さ1支)3～ 8000(1/3SV哺 1イ |)
●TI(シャッター速嘆)定常光 30m～ 1/8000S(ITV)
フランシユ光 lS～ 1/500S(ITV)
●F(絞り)lo～ 90(フアイングー内も1司)
●EV(露 :11lri)-4～ 24
0F EVの小数エメ{= _(01)～ ギ・■(09)
●測定範レHEU(アンダー)EO(ォーバー)
●測定モードロ、日団、日 (フラッシュモード)
●バッテリーチェック、bcギ't～ = _
●単nI乾電1也 (2本)(R-6、 LR-6)
● 155× 73(515)× 50(35)mm( )はグリンフ
約250g
ほ‖楓ITl彙 :1」 31C)
S° l」J 口
」
口′
‖寺的に bc表示はさ
ます。この時は電池を
〔注意〕 ●電池tEIl:が低ドしかかっている電池は
れますが異常な表示をすること力｀あり
※この仕様及び外観は改良のためr「:なく変更する場合がイ∫りま丸

■ファインダー内表示
受光角切換ノブをスポット測光
(SP)にしたとき、このサークル
内(1°)を測光しま魂
(注)平均測光(AV)のときは、中
心部表示の意味で魂
測定値のFまたはEV値が液
品表示部と同時に表示されま九
■液晶表示
平均測光(AV)時には、
(黄).が点灯しま九
LED
(フラッシュモード)の
ときのみ表示しま九
ISO(フィルム感度セット)キーと▼(ダウ
ン)キー▲(アップ)キー操作によリフィ
ルム感度が表示されまt
IS03～ 8000
▲(アップ)キー▼(ダウン)キーの操作に
より設定タイムが表示されま魂
●定常光モード30m～ 1/8000S
● (フラッシュ)モードlS～ 1/500S
mは分、sは秒表示でt
F EV選択キーに依り表
示されまt
但、 (フラッシュ)モードの
ときはF表示のみでt
①ON、 OFRモード切換スイ
にしたときb、 c文字の表示
②測定F値の整数項表示
(定常光「1.0～ 90、フラッシュ
C測定EV値の整数項表示
(定常光のみEV-4～ 24)
① ON、 OFF、モーR切換スイッチをONに
したとき電池容量の表示
(・ ―～J"'1)
②測定Flに、EV値の小数rFtの表示
・〔 ‐(0.lEV)～ J"t(0.9EV)〕
ッチをON I
光ド4.0～ 90)|
:S°]]」J
肇星日」ザ
″
色]]]」
受光角と測定モード
この露出計は (スポット測光)の組み合わせ
｀ (平均潰1光)力'可能です。
受光角の切換え
受光角切換ノブをスライドして受光角を決めま丸
LED表示
※点線は製品には表示
されません。
SP AV
(小円が測定範囲)(点線内約20° が預1定範囲)
※受光角切換ノブは確実にSP又はAVにセットしてください。
b測定モードを決めます
測定モードは定常光モード (F
値、EV値)とフラッシュモード
(F値)があります。測定光源に
応じて切り換えてください。
定常光モードの場合は、ON、
OFF、モード切換スイッチを
ONの位置にします。
F、 EV選択キーを押すと、日
ロロ表示モードが交互に切り換
えできます。
※定常光モードは測光スイッチを押している間、明るさの変化に応じて
測定値も変化表示します。
(①OFF ON`
AV ■
国
→
―
―
―
―
‥
―
←
フラッシュモードはON、 OFF
モード切換スイッチを口 (フラ
ッシュ)の位置にすると液品表
示部口が表示されフラッシュ光
測定モードになります。
※フラッシュモードは、ストロボ
と露出計をシンクロコードで接
続した測定です。(専用シンクロ
コードは別売されています。)
口 :S° l′θ 口月 田
′F5
口 IS° ′θθ 口
un
口
IFs
И [S° イコθ 口′. 田
『
′3
●ISOキーを押したままISO値をあげるときは▲キーを押し
さげるときは▼キーを押します。(ISO設定範囲 3～ 8000)
(例)右の下図は、上図よりIS Oキーを
押したまま▲キーを6回押してISO
100→ 400に変換されていま丸
● ISOキーを押したまま▼キー
又は▲キーを1秒以上押すと0.3
秒間隔で連続変換できます。
▼キーまたは▲キーを押して測
定するタイムに合わせます。
定常光モード30m～ 1/8000S
フラッシュ光モードlS～ 1/500S
(例)右上の図のとき▼キーを 1度押
すと下図のようになります。
●▼キーまたは▲キーを 1秒以上
押すと連続変換できます。
フィルム感度(:SO)を合わせ
タイムを合わせます
畢
□

1.:踏
定モ
,6R請
ード、フ
」
ィ
[幡
ルム
」
感
に
度
従、っ
タ
悧
イム
および受光角をセットします。
●ファインダーをのぞいてサーク
ル (小円)を被写体に正しく向
けます。
測光スイッチを押すと測定値が
ファインダー内と液晶表示部に
表示されます。
〔注意〕(太陽を直接測定したり、ファイ
ンダーでのぞかないでください)
測定後の演算
●フィルム感度を変更する場合は
測定後、フィルム感度 (ISO)
の変換により測定値の演算が行
なえます。
●定常光モードの場合はTIMの
変換によりF値の演算が行なえ
ます。
フラッシュモードでのタイム演
算はできません。(▲ キー又は▼
キーを測定後押すと口 0になり
ます。)
●定常光モードのみFT組合せ表
示
=EV値表示の演算切換表示
されます。
図 A 3鶯
です。摯鷲抵麿忍表示口g島.,」 6J
iS° イθθ
囲5 」・_
●定常光の場合はF、 EVキーで
EV表示にして測定値が表示さ
れれば、T変換によってTと F
の組i合せ表示ができます。(EV
値でも、EU、 EOであれば測
定範囲外。)
ムービーカメラの場合
●根1定方法は定常光と同じです。表からコマ数 (8、 16、 32-)
に対応したシャッター速度をセットして測定してください。
●なお中間の12、 18、 24コマなどは、表の補11量を参考にフィル
ム感度 (ISO)で補正の L測定願います。
ムービーコマ数 8 12
ンャンタ~数 1/15 1/125 1/250
補正三 0 1/3 0 ― /3 +1/3 0
●-113補正 :使用するISO感度より1つ小さい値にセットします。
(″ JIS040→ IS032)
●+1'3補正 :使用するISO感度より1つ大きい値にセットします。
(l● 」IS040→ IS050)
畢
IS° り」′ 口己慶」リ
図A表示の IS 0 100を 400に
変更した例 (F8が F16に変
る)
:S° lθθ
日、 . 田 _ ′
L=''」
′Ps
☆スポット露出計で露出を決定する際、一般の露出計と同じ考えで扱いますと思わぬ失敗を招くことがあります。この露出計は、被写
1被写体の各部を部分測光して露出を決定するとき (例)カラーフィルムの場合
a― シャドー部のEV‖ 盛
b― ハイライトキ|;の EV‖ 盛
c… 中‖j値
適 IIi露出
シャッター速度 112518
絞りH盛 (f/) 2.8 n
(右図写真参考)
8
12
10
ls
32
シャドー部を基準にして、ハイ
ライト部のEV値が“H"(モノ
クロムフィルムで“0")を超え
た場合、どちらかを犠牲にして
露‖1を決定するか。ハイライト
部に｀ヽる光量を制限するか、シ
ャドー部にレフ板等を使用して
補助光を■1て、明るさをllhi加さ
せます。
※シャドー部又はハイライト部ど
ちらかを犠牲にする場合
(例)シャドー部 EV7
ハイライト部 E V13
写真のように測定露111値 (EV)
を“S"又は“H"に合わせて、そ
の時の (f/)値とシヤツター速嘆
の組み合わせで露出を決めます。
シャドー部基準にしてハイ
ライト部を犠牲にする。
ハイライト部を基準にして
シャドー部を犠牲にする。
コントラストのある被写体の全
体を出したいとき、受光角をス
ポット(1°)にして、この方法で
測光し、露出を決定します。
被写体の暗部 (シャドー部)を測
定し、そのときの露出値 (EV)
をメモダイアルの“S"の目盛に
合せます。
(モノクロフィルムの場合は“U"
に合せます。)
次に被写体最明部 (ハイライト
部)を測定し、そのときの露出
値 (EV)を読みとり、その値を
メモダイアル_11の“H"(モノク
ロフィルムの場合は“0")の範
囲内にあるか確認します。
各日盛が範囲内にある場合はシ
ャード部とハイライト部の中間
の数値をメモダイアル指標 (▼)
に合せます。そのときのメモダ
イアルの絞り〈f/)目盛と、シャ
ッター目盛の組合せがこの被写
体の適正露出となります。

※メモダイヤルを使用する場合
液品表示部のEV値を読みとり、そのEV値をメモダイヤル(▼)指標に合わせ
まtそのときのムービーのコマ数と絞り目盛の組合わせが適正露出で九
〔ムービー日盛の換算〕
★ ムービー目盛は、撮影コマ表示で次のよ
うなシャッター速度になつています。(ムービ
ーカメラのシャッター開角度が 180°の場合。)
●128コヽ2… …1/250sec
● 64コマ……1 125sec
● 32コマ……1‐ 60sec
● 24コマ……1.50sec(赤の線の表示、標準
劇映画の撮影コマ数)
● 18コマ……1 40sec(rlの点の表示)
● 16コマ…… 1‐ 30sec
● 8コマ……1.15sec
お買い 11げいただいたセコニツク・デジスポットL488は、多くの電
r部品で構成された精密電子機器ですので、ド記の点にご注意ください。
a・ 落下、または急激な衝撃は絶対にさけてください。
b・ 極度の高温、多湿な場所には保管しないでください。
c。ファインダーレンズは汚さないように注意してください。汚れた場
合は柔らかい布等できれいにメ、いて使用してください。
d・ 余分な電池の消もうを避けるため、使用時以外は、できるだけON・
OFFスイッチをOFFにしてください。
e。この露出計の使用温度範囲は、 0℃ ～+40℃ です。
万一故障がおきましたときには、最寄の営業所、またはサービス・ ステー
ションにお持ちください。お近くに、営業所またはサービス・ ステーショ
ンがなく郵送される場合には厚さ3 cm以 11の衝撃よけパッキングに包ん
でから、段ボールなどで梱包してください。
☆弊社の製品には一定の期間内無料修理をお引受けする保証書が添付さ
れておりますので、記載事項をお確かめのうえ販売店よりお受取りくだ
さい。
なお保証書の再発行は致しませんので、取扱説明書と併せて大切に保管
してください。
●無料保証期間などについて
①無料保証期間はお買上げ Hよりlヵ
年間でございます。
②保証書にお買上げ日および販売店名
のないものは保証の対象になりませ
んので、必ずお確かめください。
③無料保証期間内でも有料修理となる
・ 場合も_‐ ざいますので、保証書の記載
事項をお確かめください。
④ 保証期間経過後の修理は有料となり
ます。また、運賃諸掛りはお客様に
ご負キlltt tヽます。
●補修用性能部品の保有期間などについて
①補修用性能部品は 5年間を目安に保
有しております。したがつて、本期
間中は原則として修理をお受けいた
します。なお故障箇所によりまして
は期間が過ぎても修理可能の場合も
ありますのでサービスセンターにお
問合せください。
②修理
“
r能期間はご使用の状態や環境、
お手入の状態などによつて異なる場
合がありますので、現品をご持参の
うえお買上げ店またはサービスセン
ターにご相談ください。
③l多理可能期間内ぞも浸冠水、強度の
ショック、その他損傷のいちじるし
いもので、修理後の機能維持に問題
が残ると思われますものにつきまし
ては1多理不 ■r育ヒとなる場合力'あります。
●修理ご依頼時における留意事項
①修理品につきましては、故障内容を、
またご指定の修理箇所があります場
合には、その指定箇所をできるだけ
具体的にお申し出ください。
ご指定のない場合には、各部点検を
はじめ品質的、性能的に必要と認め
られるすべてのところを検査・ 調整
・修理することになり、修理料金力'
加算される場合がありますのでご留
意ください。
②修理をご依頼されたものの中には、
単に電池を交換するだけで正常に作
動する「故障していないもの」力'見
受けられます。電池の容量低下、①
Oの逆、定格違いなどについて、よ
くお確めください。
●転居の場合の手続きについて
①転居ぞ販売店にご依頼しにくい場合
は、最寄りのサービスセンターにご
相談ください。
●お問合せ先について
本製品の保証、修理、使い方などのお
問合せは、最寄りのサービスセンター
をご利用ください。
体のスポット(部分)測光と平均測光ができま魂
フラッシュ撮影の場合、定常光
(a― d)の測定と同じ方法で測定
しそのときの日NOをメモダイ
アルの“St(“ U")、“H"(“ O")
で計算して露出の決定をします。
(フラッシュの場合はメモダイ
アルのシャッター速度は使用し
ません。)
〔参考〕露出値(EV)目盛の数値によるコントラスト比は表のとおりで丸
露出値 (EV)目盛の差コントラスト上ヒ備考
2
4
8
16
32
64
128
カラーフィルム撮影許容値
モノクロームフィルム撮影許容値
標準反射板を利用して露出を決める方法
被写体と同じ光線状態にして標準反射板 (18%反射)を測定し
て露出言|‐ を決めます。
セコニックスタンダードリフレクター (標準反射板)
反射光式の露出計で被写体の平均値を浪1定するのに便利です。
サイズ :69× 117mm ¥1,800
株式会社
レ ・r7
6× 6
レンズ焦点足E離視野角
(標準)80mm
(170)
26 5・
193・
12 ド
97・
(592)
35m■ l
レンズ焦点距離視野角 (対角線方向)
50mm
135
61
41°
12・
2被写体の平均輝度で露出を決定するとき。
被写体の明暗が占める割合によ
つて明部の面積が多いときは全
般に露出不足気味になり、暗部
の面積が多いときは露出過度気
味になります。このことを考慮
に入れてカメラの画角及び被写
体に応じて受光角切換ノブをS
P又はAVにして、被写体の明
暗比の中間を測定して露出を決
めてください。
〈東京営業部〉
〈大阪営業所〉
〈名古屋営業所〉
くフヽ 社〉
く東京サービスセンター〉
東京都新宿区市ヶ谷田町38新杵ビル
〒 62803(269)7243(代表)
大阪市東区本町225本町ビジネスビル
〒541806(263)571
名古屋市中区栄5814万国ビル
〒4608052(25)620
東京都練馬区大泉学園町72414
〒 77803(978)2330
東京都新宿区市ヶ谷田町38新杵ビル
〒 62803(269)7241